

(平成 21)2009 年度 事業報告

2009 年 4 月 1 日～2010 年 3 月 31 日

ウッドマイルズ研究会

1. 事業の実施概要および成果

I. 関連指標及びツールの開発事業

関連指標算出マニュアルは、Ver.2008-01 以降の追加修正は行っていない。関連指標算出プログラムは、Ver.2008-03 以降、誤字脱字等の一部修正を行い、Ver.2008-04 へ更新作業を行った。

II. 普及及びネットワークの形成事業

「木材に関する環境指標の普及および統合（地球環境基金助成事業 H20～22 年度）」活動を主軸に、森林～木材～家づくりの持続可能な循環をテーマとしたフォーラム（6 月：東京）、及び「環境」と「品質」の総合力による地域材普及戦略をテーマとしたセミナー（9 月：京都）を開催した。また、ウッドマイルズ関連指標算出技術者を養成する算出講習会は、希望に応じて随時開催したと共に（計 5 回）、ウッドマイルズレポートの発行（2 件）、及びウッドマイルズ関連指標算出（東京家づくり工務店の会：14 件）を行った。その他、ホームページ、ニュースレターによる情報発信を継続的に実施した。

III. 情報収集研究事業

フォーラム・セミナーの開催と並列して、木材に関する環境指標を中心に、森林～木材～家づくりの連携について 5 事例のケーススタディー調査を行い、取組事例レポートとしてまとめホームページで公開したと共に、伐採木材の利用に係る炭素収支モデルの開発（森林総合研究所共同研究 H18～H21 年度）を行った。

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額（千円）
関連指標及びツールの開発事業	マニュアル・プログラムの維持管理	4/1～3/31	事務局	1 人	会員多数	0
普及及びネットワークの形成事業	ウッドマイルズフォーラム 2009 開催	6/27	A P 浜松町	12 人	参加者 63 名	1,181
	ウッドマイルズセミナー 2009 開催	9/15～9/16	京都府職員福利厚生センター	13 人	参加者 62 名	873
	算出講習会（合計 5 回）	4/21～3/10	静岡、岐阜、東京、北海道、新潟	1 人	認定取得者 13 名	168
	ホームページ更新管理	4/1～3/31	事務局	1 人	会員他多数	0
	ニュースレター配信（23～31 号）	4/1～3/31	事務局	1 人	会員他多数	0
	関連指標算出・ウッドマイルズレポート編集発行	4/1～3/31	事務局	1 人	会員 6 社	215
情報収集研究事業	ケーススタディー調査	4/1～3/31	下川町、美幌町、つくば、東京、神奈川、山梨	8 人	会員他多数	481
	伐採木材の利用に係る炭素収支モデルの開発	4/1～3/5	事務局他	9 人	関係者多数	2,000

<各事業の概要> ～詳しくは研究会ホームページ参照

ウッドマイルズ研究会 2009 年度総会



日時／2009年6月27日(土) 9:30～11:00

場所／A P 浜松町 Hルーム

(審議事項)

- 1) 2008年度事業報告及び収支決算について
- 2) 2009年度事業計画及び収支予算について
- 3) 役員を選任について 4) その他

正会員 26名および表決委任者 61名による総会は、藤原議長のもと全ての審議事項が承認された。

ウッドマイルズフォーラム 2009 ～森林・木材・家づくり、持続可能な循環を目指して！



日時／2009年6月27日(土) 13:00～17:30 場所／A P 浜松町 Aルーム

主催／ウッドマイルズ研究会 後援／(社)大日本山林会、(社)日本建築士会連合、(社)全国木材組合連合会、(財)日本住宅・木材技術センター、森想人、(株)茨城県南木造住宅センター、東京家づくり工務店の会、北海道美幌町

[公開座談会] (箕輪光博氏、藤原敬氏、藤本昌也氏、三澤文子氏)

[活動事例報告会] 森想人／神奈川の水源の森と都市をつなぐ活動(鈴木直子氏)、つくばスタイル木の家クラブの活動(中村泰子氏)、東京家づくり工務店の会／東京森の木の家プロジェクト(池田浩和氏)、美幌発、低炭素な町づくり(澤島雅俊氏)

「森林・木材・家づくり、持続可能な循環を目指して」をテーマに、公開座談会とパネルディスカッションを行い、持続可能な循環をつくるために、どのようなビジョンを持ち、どのような道を進むべきかについて、これからの可能性や課題について会場も交えて議論した。研究会関係者をはじめ、自治体・森林木材業・建築業・その他一般企業など、総勢 62名が参加した。

ウッドマイルズセミナー2009 ～「環境」と「品質」の総合力による地域材普及戦略を考える



日時／2009年9月15日(火) 13:00～17:00、9月16日(水) 9:00～12:00

場所／京都府職員福利厚生センター第1会議室

主催／ウッドマイルズ研究会 共催／京都府 後援／(社)日本建築士会連合、(社)全国木材組合連合会、(財)日本住宅・木材技術センター、(社)京都府建築士会、京都府地球温暖化防止活動推進センター、京都府産木材認証制度運営協議会

[講演] 地域材に求められる品質(槌本敬大氏)、木材を取り巻く環境指標、環境政策の動向(滝口泰弘)、地域材の普及戦略(野池政宏氏)

[各地の取組報告] 京都府の取組(柴田繁氏)、新潟県の取組(二野宮雅宏氏、重川隆志氏)

[意見交換会] 特別ゲスト(池淵雅和氏)、コーディネーター(野池政宏氏)

「環境」と「品質」の総合力による地域材普及戦略を考える」をテーマに、項目別の講演、取組報告、パネルディスカッションを行い、今後の各地の地域材利用や普及戦略について会場も交えて議論した。各地の自治体担当者、林業・木材業関係者、建築設計者・工務店、その他関係者・学生など、地域の木に関する幅広い参加者、総勢 62名が参加。

ウッドマイルズ算出講習会

実施日	場所	受講者数	備考
4/24	ナイス (株) (静岡)	15名	認定は1名
6/23	事務局 (岐阜)	2名	村越建設 (株)
7/30	事務局 (神奈川)	1名	天竜T S ドライシステム (協)
8/17	(株) 牧野 (北海道)	10名	認定は1名
3/10	新潟自治会館 (新潟)	32名	認定は8名、主催/新潟県
4/10	島根建築会館 (島根)	9名	主催/島根木造塾
4/28	事務局 (東京)	1名	(株) エヌ・シー・エヌ、認定検討中

ホームページ更新管理 (算出事例掲載では以下の12事例を追加)



K邸：山梨



藤山台の家：愛知



若木エコ・ビレッジ



永源寺の杉の家



常徳寺本堂



LITTLE KASHIMO



環境E C Oモデルハウス



都留市エコハウス



木の国サトモデルハウス



下川町エコハウス



生地の家

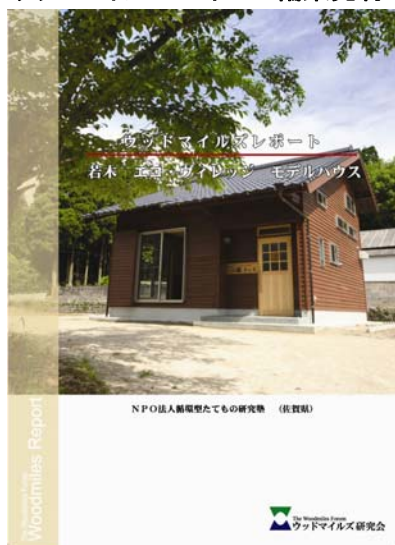


S邸

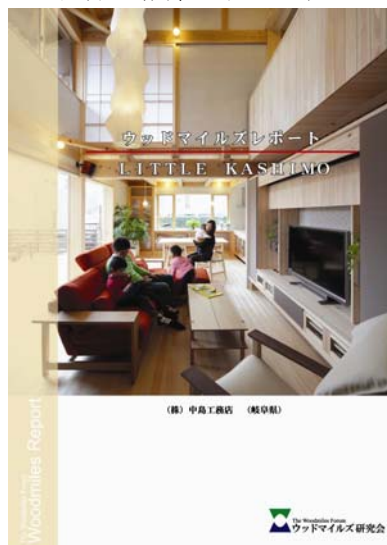
関連指標算出

長期優良住宅先導モデル事業 (平成20年度第2回) 採択事業、「東京/森の木の家プロジェクト2 (東京家づくり工務店の会)」に関する14物件のウッドマイルズ関連指標の算出を事務局にて実施した (各住宅とも構造材のみ)。

ウッドマイルズレポート編集発行 (以下の2物件の編集を行った)



2009年7月6日
若木エコビレッジモデルハウス
NPO法人循環型たてもの研究塾



2010年3月27日
LITTLE KASHIMO
(株) 中島工務店

ケーススタディー調査

循環型林業の町で地域材による家づくり
FSC認証材による家づくり

- 01 下川町の循環型林業と産業クラスター
- 04 地域のリーダー「下川町森林組合」
- 02 地元材による建築材による家づくり
- 06 関連事業者レポート

下川町ふるさと開発振興公社
クラスター推進部 **01**

町産材活用住宅による地域経済活性化施策
町産材活用住宅助成制度

- 08 高層町の概要と森林認証
- 09 町産材活用住宅助成制度
- 11 高層町産材活用住宅の環境と課題
- 12 多岐に渡る自然素材の家づくりの取り組み

北海道美幌町 **02**

「つくばスタイル」で県内の山と町をつなぐ
住宅開発地「つくば」の地元工務店

- 13 住宅開発地「つくば」と地産材
- 14 「つくばスタイル」木の家のクラブ
- 15 木の家のクラブの活動と今後の課題
- 16 関連事業者レポート

「つくばスタイル」木の家のクラブ **03**

暮らしの中から森と都市をつなぐ
水源の森と暮らしをつなぐ活動

- 22 立地設計者が集まった森想人
- 23 様々なイベントを通して進めた活動の概要
- 24 水源の森の木ではまいを創る
- 25 関連事業者レポート

森想人 **05**

東京/森の木の家プロジェクト
長期優良住宅先導的モデル

- 18 東京家づくり工務店の会
- 19 東京/森の木の家プロジェクト
- 20 取組の経緯、効果と課題
- 21 関連事業者レポート

東京家づくり工務店の会 **04**

森林～木材～家づくりの連携
異なるアプローチによる
取組事例レポート(5事例)
-木材に関する環境指標を中心に-
平成22年3月 ウッドマイルズ研究会

図1及びレポート作成に当たり、平成21年度後期自治体法人職員研修会や環境研修会等の活動が活用されています

木材に関する環境指標を中心に、異なるアプローチによる5事例(①下川町ふるさと開発振興公社クラスター推進部、②北海道美幌町、③「つくばスタイル」木の家のクラブ、④東京家づくり工務店の会、⑤森想人)のケーススタディー調査を実施し、取組事例レポートとしてまとめ、ホームページで公開した。

伐採木材の利用に係る炭素収支モデルの開発 (輸送エネルギーの解析担当)

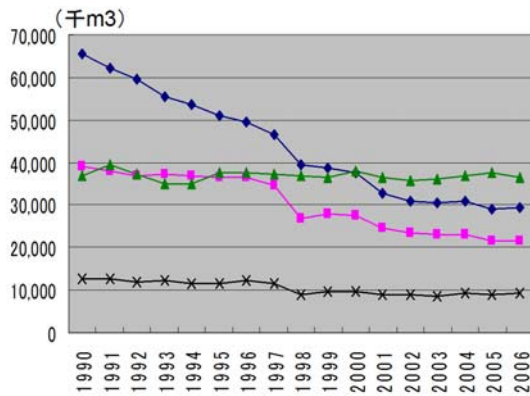


図1 品目別国内輸送量 (その1)

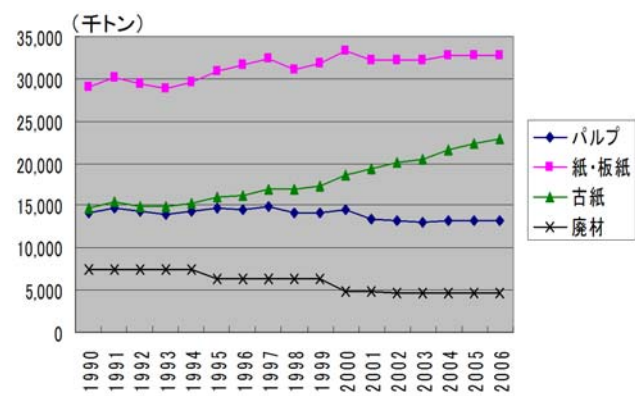


図2 品目別国内輸送量 (その2)

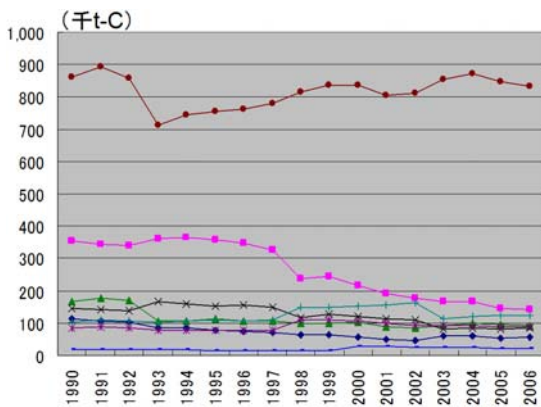


図3 品目別国内輸送炭素排出量 (改良トンキロ法)

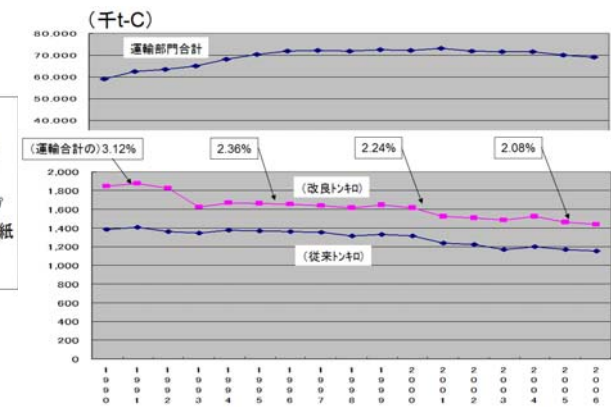


図4 8品目の国内輸送炭素排出量割合

平成21年度は、自動車輸送の積載量別の検討を含めた、素材、製材、合板、チップ、パルプ、紙、古紙、廃材の8品目の国内輸送に伴う炭素排出量の年度別推計(1990～2006年)を行った。

本事業は平成21年度で完了し、現在同チーム(森林総合研究所:木材特性研究領域、林業経営・政策研究領域長、木質構造居住環境研究室、ウッドマイルズ研究会、東京大学大学院工学系研究科、ドットコーポレーション)にて、平成22年度以降の研究プロジェクトを申請中。ウッドマイルズ研究会では、輸入材の国際物流に伴うバンカーオイル(輸送用燃料)からの炭素排出、及び国内地域間交流の効率化や鉄道・船舶への物流モダリティシフトの可能性を検討する予定で、チーム全体では、伐採木材製品利用による排出削減シナリオの開発を行う予定。

2. 研究会の組織

(2010/3/31 現在)

算出技術者認定取得のための算出講習会を中心に、個人、法人ともに会員数が増加した。

種 別	2008 (H20) 年度	2009 (H21) 年度	備 考
顧問	19 名	19 名	
技術委員	4 名	4 名	
正会員個人	100 名	127 名	27 名 増
正会員法人	28 社	37 社	9 社 増
賛助会員個人	28 名	27 名	1 名 減
賛助会員法人	0 社	0 社	
認定算出技術者	87 名	108 名	21 名 増
ニュースレター配信	301 名	381 名	80 名 増

3. 掲載紙等利用状況 (2009/4/1～2010/3/31 現在)

<新聞報道>		
2009.4.21	北海道新聞、美幌新聞	ウッドマイルズフォーラム in 美幌 (4/18) リポート
2009.5.22	朝日新聞 (福岡) 夕刊	論説委員室コラム欄にウッドマイルズ及びNPO法人循環型たても研究塾の活動を掲載
2009.7.24	京都新聞	京都府産木材認証制度運営協議会総会後のウッドマイルズ 講演リポート
2010.3.20	新建ハウジング	ウッドマイレージ CO2 による地域エコポイント検討記事 (静岡県家づくり浜松協同組合)
<書籍、冊子>		
2009.4.1	茨城県産材普及促進協議会パンフレット	輸送エネルギーを削減する「地産地消」の温暖化防止策として「ウッドマイルズ」を掲載
2009.4.6	北海道木材利用推進協議会パンフレット	地元の木材使って CO2 を削減する方法として「ウッドマイルズ」を掲載
2009.5.1	新建築 住宅特集 2009.5 号	特集「素材からの環境への取組」の中で「ウッドマイルズ」掲載
2009.10.1	新研ゼミ 高校講座「高2 受験チャレンジ小論文」 2009.10	「私の晩ごはんは環境問題とどうつながっている？」の中で日本のウッドマイレージ掲載
2009.10.15	Forestry and Forestry (社) 静岡県林業会議所発行	「ウッドマイルズという考え方 (三澤文子氏)」掲載
2010.2.13	木と家のこと～風土に適した「かがわ型住宅」の手引き	「木のデータ、家のデータ」の中でウッドマイルズ関連データ掲載
2010.3.1	遠州型長期優良住宅報告書	「遠州型エコアクトポイントで利用するウッドマイレージ CO2 の検討」掲載 (※平成 21 年度地域木造住宅市場活性化推進事業:国土交通省)

(平成21) 2009年度事業会計収支決算書

2009年4月1日から2010年3月31日

ウッドマイルズ研究会

科目・摘要	金額		
I 収入の部			
1 会費・入会金収入			
(1) 年会費			
・正会員個人 5,000円×75名=375,000	375,000		
・正会員法人 30,000円×25社=750,000	750,000		
・賛助会員個人 3,000円×15名=45,000	45,000		
・賛助会員法人 30,000×0=0	0		
		1,170,000	
2 事業収入			
(1) 関連指標及びツールの開発事業			
1) 建築物ウッドマイルズ関連指標算出マニュアル・プログラムの維持管理	0		
(2) 普及及びネットワークの形成事業			
1) フォーラム、セミナー開催			
・ウッドマイルズフォーラム2009(東京)(地球環境基金活動助成事業)	116,800		
・ウッドマイルズセミナー2009(京都)(地球環境基金活動助成事業)	100,000		
・算出講習会(静岡、岐阜、神奈川、北海道、新潟)	197,000		
2) 情報発信			
・ホームページ情報更新、ニュースレター配信	0		
・ウッドマイルズ関連指標算出及びレポート編集発行	215,000		
(3) 情報収集研究事業			
1) ケーススタディー調査(地球環境基金活動助成事業)	0		
2) 伐採木材の利用に係る炭素収支モデルの開発(森林総合研究所共同研究)	2,000,000		
		2,628,800	
3 補助金・助成金収入			
(1) 環境再生保全機構(地球環境基金)			
・「木材に関する環境指標の普及および統合」活動助成金	1,800,000		
		1,800,000	
4 その他			
(1) 利息・雑収入	184		
		184	
当期収入合計(A)		5,598,984	
前期繰越収支差額		147,079	
収入合計(B)			5,746,063
II 支出の部			
1 事業費			
(1) 関連指標及びツールの開発事業			
1) 建築物ウッドマイルズ関連指標算出マニュアル・プログラムの維持管理	0		
(2) 普及及びネットワークの形成事業			
1) フォーラム、セミナー開催			
・ウッドマイルズフォーラム2009(東京)(地球環境基金活動助成事業)	1,180,972		
・ウッドマイルズセミナー2009(京都)(地球環境基金活動助成事業)	873,448		
・算出講習会(静岡、岐阜、神奈川、北海道、新潟)	167,570		
2) 情報発信			
・ホームページ情報更新、ニュースレター配信	0		
・ウッドマイルズ関連指標算出及びレポート編集発行	215,000		
(3) 情報収集研究事業			
1) ケーススタディー調査(地球環境基金活動助成事業)	481,358		
2) 伐採木材の利用に係る炭素収支モデルの開発(森林総合研究所共同研究)	2,000,110		
		4,918,458	
2 管理費			
(1) 事務局委託費(ホームページ・ニュースレター・運営管理・事務所使用料等一式)	720,000		
(2) 借損料(総会会場費はフォーラムに計上)	0		
(3) 旅費・交通費	0		
(4) 通信費	67,120		
(5) 支払手数料	13,280		
(6) 消耗品費	25,250		
		825,650	
当期支出合計(C)			5,744,108
当期収支差額(A)-(C)			▲145,124
次期繰越収支差額(B)-(C)			1,955

2009年度（平成21年度）事業会計貸借対照表

2010年3月31日現在

ウッドマイルズ研究会

科目・摘要	金額		
I 資産の部			
1 流動資産			
現金	7,994		
預金	16,961		
売掛金	147,000		
前払費用	0		
流動資産合計		171,955	
2 固定資産			
固定資産合計	0	0	
資産合計			171,955
II 負債の部			
1 流動負債			
短期借入金	0		
未払費用	0		
前受金	170,000		
預り金	0		
流動負債合計		170,000	
2 固定負債			
固定負債合計	0	0	
負債合計			170,000
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産		147,079	
当期正味財産増加額		▲ 145,124	
正味財産合計			1,955
負債及び正味財産合計			171,955

2009年度（平成21年度）事業会計財産目録

2010年3月31日現在

ウッドマイルズ研究会

科目・摘要		金額	
I 資産の部			
1 流動資産			
現金			
現金手許高	7,994		
預金			
十六銀行美濃支店	0		
三井住友銀行新百合ヶ丘支店	16,961		
郵便局	0		
売掛金			
助成金、レポート編集作成費	147,000		
前払費用	0		
流動資産合計		171,955	
2 固定資産			
固定資産合計		0	
資産合計			171,955
II 負債の部			
1 流動負債			
短期借入金	0		
未払費用	0		
前受金			
2010年度分年会費	170,000		
預り金	0		
流動負債合計		170,000	
2 固定負債			
固定負債合計		0	
負債合計			170,000
正味財産			1,955

2009 年度 収支決算 監査報告書

ウッドマイルズ研究会の 2009 年度の収支決算について、会計担当ならびに事務局長の立会いのもとに監査を行いましたので、次のとおり報告します。

1. 監査方法の概要

会計監査のため、帳簿および領収書綴り、各事業計画書・収支予算書および各事業報告書・収支決算書ならびに預金通帳等をそれぞれ照合し、必要に応じて会計担当ならびに事務局長に説明を求めて調査しました。

2. 監査の結果

会計帳簿の記載は正確で、関係書類ならびに会計処理はすべて適正であり、2009 年度収支決算書に相違がないことを認めます。

平成 22 年 5 月 31 日

ウッドマイルズ研究会

監 事 辻 充孝



監 事 中村 泰子

